

県の新たな取組

副知事をトップとする庁内プロジェクトチームを緊急的に立ち上げ(平成22年12月18日)、総合的な対策を検討。

(1) 目標設定

被害額減少目標 (単位:百万円)					捕獲頭数目標 (単位:頭)				
	H19	H20	H21	H23目標		H19	H20	H21	H23目標
全体被害額	643	648	721	500以下	イノシシ	10,554	12,590	11,071	15,000
					シカ	1,629	1,892	2,198	2,800
					サル	178	265	201	300

(2) 対策の概要

県と市町の役割分担を踏まえ、県は広域的観点から緊急対策、中長期対策を推進

区分	捕獲	防護	クマ
緊急対策	捕獲の強化 ・県・市町・猟友会等の連携によるイノシシ徹底捕獲 ・シカの大量捕獲柵システムの導入・実践 ・広域捕獲班によるサル捕獲支援等 埋却処理	地域ぐるみ型被害防止活動の普及・定着 ・集落環境調査の実施 ・リーダー育成 ・地域内での活動体制確立支援 緩衝帯整備促進	クマ保護管理対策
中長期対策	捕獲の担い手確保・育成 食肉利用	多様で健全な森林づくりの推進	

国の対策事業の導入、特別交付税の活用について、各市町に徹底

(3) 当面の取組

広域的観点による「鳥獣被害防止総合対策」の予算化と適切な執行

市町が主体的に実施する鳥獣被害防止対策の着実な推進

- ・市町への県の取組に対する理解促進と市町関連事業実施の働きかけ

農林水産部、環境生活部、地域振興部合同による市町へのキャラバン実施

市町・農林事務所・関係団体合同説明会開催

国の対策事業「鳥獣被害緊急総合対策」に対し、本県の実情に即した制度とするための国への緊急要望